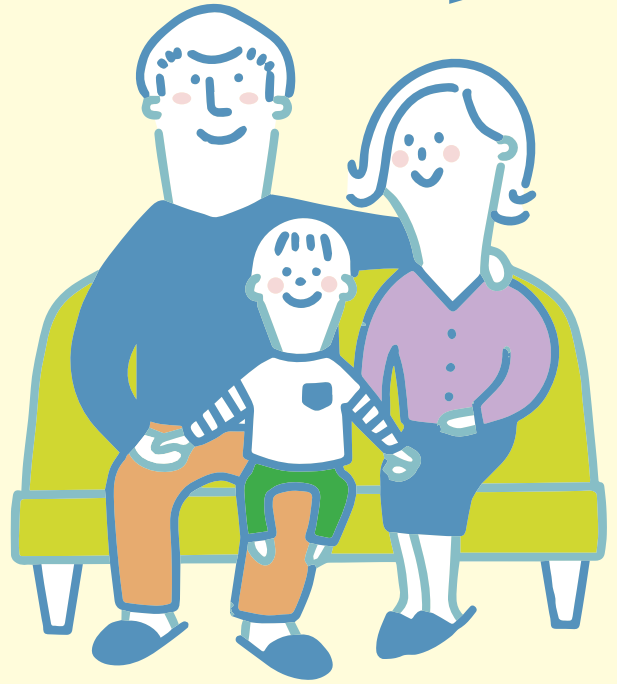


「困った子」って どんな子？

2023 12/3 日

13:00 - 15:10 | 受付開始12:30 -

対象 | どなたでもご参加いただけます。
※幼稚園教諭、保育士、放課後デイ職員、児童発達支援事業所スタッフ、
小学校教諭の皆さまも、ご自身の学びを広げるためにご活用ください。



第一部

発達特性とその理解 ■13:00-13:45

ちょっと気になるお子さん、困ったお子さんはおられますか？それは発達障害の特性かもしれません。発達障害では、コミュニケーションや対人関係、行動、情緒といった問題だけでなく、感覚の問題も高頻度に見られます。

これらの特性が原因で起こる事象は、日常生活や集団生活の場で問題となり、保護者や保育士、教員の方がその対応に悩まれることも多いように見受けられます。

今回は、入門編として発達障害とその特性についてわかりやすく解説します。また、対応の考え方や具体的な支援方法をご紹介します。

特性による影響は、ご本人にとっても深刻な問題になることがあります。「困った子」は、もしかしたらご本人がとても困っているのかもしれない。

【川畑 武義【講師プロフィール】】

大阪保健医療大学大学院保健医療学専攻修士課程修了。言語聴覚士。地域の総合病院、訪問看護ステーションでの臨床を経て、現在は大阪保健医療大学言語聴覚専攻科の教員として勤務。小児領域の訪問看護ステーション、児童発達支援・放課後等デイサービスで子どものことばの発達や食事に関する困りごとへの支援にも携わっている。



第二部

その困りごと、聴こえ（聴覚情報処理）の問題かも？ — 発達を支える知られざる聴覚機能 — ■14:00-14:45

聴覚はお子さんの発達を支える大切な機能の一つです。単に音が聞こえるということだけでなく、聴覚には、実はいろいろな機能があります。例えば、「音が聴こえること」と「言葉を理解できること」は別の機能です。お子さんの言葉を育てていくためには、「音を聴く力」をベースに「ことばを理解できる能力」を積み上げていく必要があります。

個別対応では問題なく伝わっているのに、集団の中では指示が伝わりにくいお子さんはおられますか？近年、特定の場面で「聴くこと」と「理解すること」の能力に乖離があるお子さんの存在が明らかになって

います。今回は、そのようなお子さんを理解し適切な支援を行うために、聴覚機能とその障害について解説し、それぞれの機能障害によってどのような症状や困りごとが生じるのかをお伝えします。

【福田 信二郎【講師プロフィール】】

香川大学大学院医学系研究科機能構築医学専攻 博士（医学）を修了。言語聴覚士。大学病院勤務を経て、現在は大阪保健医療大学言語聴覚専攻科教員として勤務。引き続き大学病院の耳鼻咽喉科で、聴覚障害児（者）の支援に携わっている。



公開講座終了後
ご希望の方のみ

言語聴覚専攻科説明・修了生トークも開催
(言語聴覚士の修了生と直接話ができる座談会)



会場 大阪保健医療大学2号館 講堂
〒530-0043 大阪市北区天満1-17-3

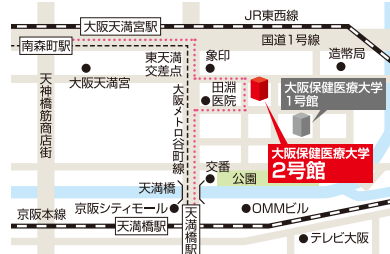
定員 150名 (先着)

0120-581-834

公開講座の詳細・お申込は専攻科HPで！

大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科

検索



Osaka Health Science University
医療・福祉・スポーツをリハビリテーションで支える
大阪保健医療大学

保健医療学部 リハビリテーション学科
PT 理学療法専攻 OT 作業療法専攻

専攻科 | 対象: 4年制大学卒業生(2年課程) 大学院
ST 言語聴覚専攻科 保健医療学研究科・保健医療学専攻

公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 | 中級障がい者スポーツ指導員資格取得認定校